

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1C01 ピアノ I	田中 幸子・吉良 千波 塩津 貴子・住江 智子	クラス分け	1単位	子ども学科 1年次	前期	必修	選択必修	選択必修	選択必修	B D E F
授業のテーマ及び到達目標										
回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
1	オリエンテーション 童謡の意義 練習の重要性	アンケート記入 シラバスを読む	レッスンカードに 練習計画をまとめる	9	ピアノ曲を学ぶ 練習方法の工夫	部分練習の必要性 と方法について考え 基本練習に活かす	楽曲に必要な基 礎練習・練習時 間・練習内容を 知る			
2	基本の姿勢、手の形とタッチ 春の歌	レッスンカードの 課題の予習	基本姿勢を習得し、肩の力を抜く腕の脱力に努める	10	ピアノ曲の表現 ブルグミュラー、ソネチネ他 自由曲	各自選んだ課題を 音楽的に仕上げる 目標で取り組む	楽曲の特徴を理 解し歌詞のない 曲の音楽的表現 を学ぶ			
3	拍子とフレーズ 園生活の歌・登園	指の基礎訓練でピ アノのタッチにな れる	ストレッチで脱力 の習慣をつける。 自分の音を聴く	11	作品の背景を知る 抒情的な歌	作品の背景を調べ 歌詞からの情景を 感じ取る	フレーズによって 表現も伝わり方 も変わることが 意識される			
4	歌詞読みとプレス 初夏の歌	初夏の風物詩や童 謡を調べ課題の予 習をする	歌詞読みの重要性 を知り、フレーズ を考え歌詞を覚える	12	音符と音価 夏の歌	音符の長さに注意 を払って楽譜を読 む	理論上の音価と 表現上の音価の 違いを考え実践・ 表現する			
授業の概要										
5	拍子とリズム 園生活の歌・活動	リズムカルな曲に 早く慣れる練習法 を工夫する	より効果的で自分 に合った練習方法 を開拓する	13	ベース伴奏 園生活の歌・夏の行事	ベースの役割と意 義を意識し片手練 習をする	ベースと旋律の 良いバランスを 聴き取り実践す る			
6	付点リズム 園生活の歌・降園	練習法により付点 リズムに慣れ園児 の動きを感じる	付点リズムの特徴 を掴み拍子にの る感覚を修得する	14	コード伴奏 園生活の歌・あそび	主要三和音(属七 含む)の基本形を 覚えるようにする	ハ、二、ハ、ト 長調についてフ ロック奏法を身 につける			
7	成果発表	人に伝える表現を 目指す。人の発表 を聞く心構え	伝える難しさを分 析し、発表を聴い た感想をまとめる	15	ピアノの基本の振り返り まとめ	表紙試験課題曲の 練習、部分練習、 暗譜に取り組む	試験課題曲の完 成度を高め完全 に暗譜する			
8	運指 園生活の歌・行事	時の記念日につい て調べ曲の特徴に 合った奏法を探す	課題以外でこの時 期に相応しい曲を 調べる							
教科書・テキスト等	ポケットいっぱいのおうた(鈴木恵津子・富田英也編著 教育芸術社)、こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)、続・こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	日本童謡200選(日本童謡協会編 音楽之友社)、音楽リズム・幼児の歌(小林美実編 東京書籍)			期末試験(ピアノ実技) 平常点	80% 20%	テンポ、フレーズ感 毎回の練習状況、レッスンへの取り組み姿勢				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1C02 ピアノ II	田中 幸子・吉良 千波 塩津 貴子・住江 智子	クラス分け	1単位	子ども学科 1年次	後期	必修	選択必修	選択必修	選択必修	B D E F
授業のテーマ及び到達目標										
回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
1	オリエンテーション ピアノ I の総括	基本の振り返りと 夏休みの課題を仕 上げる	効率的な移調の為 にベース伴奏や コード伴奏を学ぶ	9	移調奏 長2度上下	幼児の声域により 必要となる移調奏 の基本を学ぶ	効率的な移調の 必要となる移調奏 やコード伴奏を 学ぶ			
2	ハ長調のコード伴奏 あそびの歌	レッスンカードの 課題の予習コード のブロック基礎練 習	歌詞を完全に覚え 拍子に乗って楽し く演奏できる	10	アウフタクト 冬の行事	アウフタクトの拍 子の取り方、強 弱・弱拍に慣れる	アウフタクトの拍 子の取り方、強 弱・弱拍に慣れる 演奏できる			
3	ハ長調のベース伴奏 こどもの歌	楽語の音楽用語を 確認し、理解し おく	課題以外の音楽用 語の使い方も復習 する	11	分散和音 アルペルティバス	ハ長調のコードを 基本形とブロック 伴奏で理解する	分散和音に慣れ 実践できるように する			
4	順次進行・スタッカート 園生活の歌・行事	秋の風物詩やこ どもの歌を調べて課 題の予習をする	反進行に慣れ曲想 に合うスタッカート の工夫が出来る	12	演奏表現・強弱とスラー 冬の歌	歌詞の情景に合う 強弱を記譜以上の 深読みで考える	歌詞に沿った2小 節、4小節のま まりで演奏する			
授業の概要										
5	歌詞の表現とプレス 秋の歌	歌詞読みから情景 が伝えられる表現 を目指す	伴奏にも呼吸が必 要であることを知 り実践する	13	二長調のコード 園生活の歌・行事	楽語の歌詞のスタ ックカートに注意 する	二長調のブロッ ク伴奏、ハ長調 への移調奏を実 践する			
6	ハ長調のコード伴奏 和音の跳躍	部分練習・片手練 習を効果的に行う	アーティキュレー ションを工夫し楽 曲の奏法を研究す る	14	ハ短調のコードと伴奏 春の行事	短調コード基本形 とオクターブ伴奏 の違いを学ぶ	コードのブロッ ク奏法により同 主調の仕組みを 感じる			
7	成果発表	こどもに寄り添う 音楽を人に伝える 為の練習をする	演奏を聴いた感想 を発表し問題を共 有する	15	ピアノ II の振り返り まとめ	こどもに音楽で寄 り添うための練 習、暗譜に取 組む	童謡のすばらし さを伝える為の スキルアップに 努める			
8	連弾 アンサンブルの基本	個々の充分なパ ート練習の後、合 わせの練習をする	バランスのとおり 方や相手の音を聴 く大切さを認識す る							
教科書・テキスト等	ポケットいっぱいのおうた(鈴木恵津子・富田英也編著 教育芸術社)、こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)、続・こどものうた200(小林美実編 チャイルド社)		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	日本の童謡200選(日本童謡協会編 音楽之友社)、音楽リズム・幼児の歌(小林美実編 東京書籍)			期末試験(ピアノ実技) 平常点	80% 20%	テンポ、フレーズ感 毎回の練習状況、レッスンへの取り組み姿勢				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1C09 声楽Ⅰ	村橋 和子	単独	1単位	子ども学科 1年次	前期	必修	選択必修	必修		AD
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
50曲の歌唱を行い、その内こどもの歌15曲、手遊び15曲を暗譜し、現場で即座に使える歌の音楽力を身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 声楽の発声について理解する。授業の進め方を把握する。	シラバスを熟読する	こどもの歌について調べる	9	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(食べ物、水遊び)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	2	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(生活の歌)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	10	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(秋、動物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	3	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(入園、卒園、誕生会、七夕、夏休み)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	11	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(冬、雪)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	4	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(クリスマス、お正月、節分、ひな祭り)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	12	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(クリスマス、一年生)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
授業の概要										
歌う事の基本である呼吸法、発声法を学ぶ。たくさんの童謡・唱歌、手遊びを含む様々なこどもの歌にふれながら、歌詞も理解し、曲に合った表現や工夫も身につける。また集団を動かす声作り、声に使い方についても学ぶ。また音楽に合わせて身体を動かし、リズム感を養う。さらには童謡の作曲家についても学修する。適宜、個人レッスンをを行う。	5	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(春、花)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	13	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(乗り物、遊び)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	6	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(ともだち、先生)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	14	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(試験課題曲の復習)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	7	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(雨、動物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	15	まとめ(課題曲の歌唱による試験)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	8	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(夏、海)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する						
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっばいのうた実践子どもの歌 簡単に弾ける144選(教育芸術社)、コンコーネ50番 中声用(全音楽譜出版社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					平常点(態度・行動観察) 期末テスト	20% 80%	授業への集中、課題への取り組み 歌唱による試験			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1C10 声楽Ⅱ	村橋 和子	単独	1単位	子ども学科 1年次	後期	必修	選択必修	必修		AD
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
50曲の歌唱を行い、その内こどもの歌15曲、手遊び15曲を暗譜し、現場で即座に使える歌の音楽力を身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 発声、コンコーネ50番、こどもの歌(前期既習曲)	シラバスを熟読する	前期既習曲を復習する	9	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(CMソング)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	2	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(食べ物、乗り物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	10	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(NHK「おかあさんといっしょ」の曲から)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	3	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(動物、おぼけ)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	11	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(ディズニー映画から)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	4	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(わらべうた)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	12	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(英語の歌)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
授業の概要										
声楽Ⅰに引き続き呼吸法、発声法を学び、さらに集団を動かす声作り、声の使い方についても学ぶ。たくさんの童謡・唱歌、様々なこどもの歌を歌唱し、保育現場でその提供の仕方(姿勢、表情、声のかけ方)などについても学ぶ。さらには童謡の作曲家についても学修する。適宜、個人レッスンをを行う。	5	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(レクリエーション)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	13	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(これまで学修した曲の復習)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	6	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(からだ、野菜)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	14	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(試験課題曲の復習)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	7	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(アニメソング)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する	15	まとめ(課題曲の歌唱による試験)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する		
	8	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(テレビ番組の曲)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する						
教科書・テキスト等	ポケットいっばいのうた実用幼児・児童の歌 簡単に弾ける144選(教育芸術社)、コンコーネ50番 中声用(全音楽譜出版社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					平常点(態度・行動観察) 期末テスト	20% 80%	授業への集中、課題への取り組み 歌唱による試験			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1M1C01 合唱 I	菊村 隆史	単独	2単位	音楽学科・こども学科 1年次	前期	必修	必修			ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
1	ガイダンス 授業計画発表・学修内容の説明・パート編成分け	シラバスを確認	計画を立てる	9	楽曲演奏と研究① 課題楽曲Aの実習、アーティキュレーションについて研究する。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
2	合唱（コーラス・アンサンブル）のための基本的な発声法の修得とその実習①呼吸のコントロールと発声のメカニズムについて研究する。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	10	楽曲演奏と研究② 課題楽曲Bの実習、発語（ディクショ）ンについて研究する。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
3	合唱（コーラス・アンサンブル）のための基本的な発声法の修得とその実習②安定感のあるプレスに立脚した声について研究する。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	11	楽曲演奏と研究③ 課題楽曲Cの実習、アーティキュレーションについて研究する。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
4	合唱（コーラス・アンサンブル）のための基本的な発声法の修得とその実習③様々なパッセージを歌唱し自らの声と音域について研究する。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	12	楽曲演奏と研究④ 課題楽曲Dの実習、発語（ディクショ）ンについて研究する。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
授業の概要										
5	アンサンブル・トレーニングの修得とその実習① 移動ド唱法とソルミゼーションその1	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	13	まとめ グループ別研究発表と考察①	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
6	アンサンブル・トレーニングの修得とその実習② 移動ド唱法とソルミゼーションその2	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	14	まとめ グループ別研究発表と考察②	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
7	アンサンブル・テクニックの修得とその応用①単旋律聖歌、オルガスム等を用いて完全4度または完全5度の響きを味わい音程感覚を養う。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	15	前期の総括	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
8	アンサンブル・テクニックの修得とその応用②カノン、オスティナート、2～3声の楽曲、様々なコーラス・アンサンブルを研究する。	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習							
教科書・テキスト等	必要に応じて配布、または個人購入して使用する、詳細は授業時に指示する。	成績 評価 基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
			課題演奏 課題 / レポート	50% 30%	演奏に学修課題を活かしている 合唱曲、アンサンブルについての考察					
参考書・参考資料等			平常点（態度・行動観察）	20%	授業態度、積極的な取り組み					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1M1C02 合唱 II	菊村 隆史・桑原 理恵・村橋 和子	複数	2単位	音楽学科・こども学科 1年次	後期	必修	必修			ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
1	ガイダンス 作品演奏にふさわしい発声、発語に留意しながら和声的感覚を養うトレーニングに取り組む	シラバスを確認	計画を立てる	9	楽曲演奏と実習⑧ 組曲第8曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
2	楽曲演奏と実習① 組曲第1曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	10	楽曲演奏と実習⑨ 組曲第9曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
3	楽曲演奏と実習② 組曲第2曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	11	楽曲演奏と研究⑩ 全曲通し練習その1	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
4	楽曲演奏と実習③ 組曲第3曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	12	楽曲演奏と研究⑪ 全曲通し練習その2	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
授業の概要										
5	楽曲演奏と実習④ 組曲第4曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	13	リハーサル	既習事項のまとめ と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
6	楽曲演奏と実習⑤ 組曲第5曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	14	演奏会	既習事項のまとめ と練習	課題に基づき 復習・反復練習			
7	楽曲演奏と実習⑥ 組曲第6曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習	15	総括と反省	既習事項のまとめ と練習	合唱音楽につ いてまとめる			
8	楽曲演奏と実習⑦ 組曲第7曲の演奏	演習楽曲の研究 と練習	課題に基づき 復習・反復練習							
教科書・テキスト等	必要に応じて配布、または個人購入して使用する、詳細は授業時に指示する。	成績 評価 基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
			課題演奏 課題 / レポート	50% 30%	演奏に学修課題を活かしている 合唱曲、アンサンブルについての考察					
参考書・参考資料等			平常点（態度・行動観察）	20%	授業態度、積極的な取り組み					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
リトミックⅠ	隈部 文	単独	1単位	音楽学科・こども学科 1年次	前期	※				ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
1	オリエンテーション 基本的な動きと即時反応	シラバスに目を通しておく	エミール＝ジャック ダルクローズについて調べる	9	リズムフレーズ（クラップとステップ）	課題のリズムフレーズをクラップしておく	自分でリズムフレーズを作りクラップやステップをする			
2	ビート（拍）	配布資料を読み、様々なジャンルの音楽を聴いておく	様々な音楽を聴きながらビートを叩く	10	ポリリズム	課題のリズムをクラップ、ステップしておく	自分で考えたポリリズムをクラップやステップする			
3	ダイナミクスとテンポ	配布資料を読んでおく	いろいろな速さの音楽を聴きながらビートを叩く	11	曲の形式	提示された曲を聴いておく	いろいろな曲の形式を調べる			
4	拍子	配布資料を読んでおく	様々な曲を歌いながら拍子をクラップやステップする	12	ニュアンス	配布資料を読んでおく	自分の好きな曲をいろいろなニュアンスで歌ってみる			
5	アナクルーシス	拍子の復習をししておく	身近な曲からアナクルーシスを探す	13	補足リズム	基礎リズムやリズムパターンをクラップしておく	いろいろな曲を補足リズムをクラップする			
6	基礎リズム	基本的なリズムをクラップしておく	授業を振り返り、基礎リズムの体験方法を考えてみる	14	連続リズムとカノン	課題のリズムをクラップ、ステップしておく	授業で取り上げた課題を確実にできるようにしておく			
7	リズムパターン（リズム型）	物の名前を言いながらクラップしておく	授業で学んだリズムパターンをステップしておく	15	まとめ	実技試験の準備	実技試験の振り返り			
8	リズムフレーズ（声とクラップ）	短文を言いながら区ラップしておく	リズムフレーズをリズム唱で唱えたりクラップする	備考 ※卒業要件として、音楽学科は選択、こども学科は必修						
教科書・テキスト等	基礎からわかるリトミック！リトミック！ 石丸 由理著（ひかりのくに出版）	成績評価基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント					
参考書・参考資料等	ダルクローズ・アプローチによる子どものための音楽授業 ヴァージニア・ホッジ・ミード著 神原雅之他 訳（ふくろう出版）	平常点	定期試験（実技試験）	40%	授業への積極的な取り組み、受講態度 リズムの正確さ					
				60%						

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
リトミックⅡ	隈部 文	単独	1単位	音楽学科・こども学科 1年次	後期	※				ABCDEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
1	動きのための音楽①（ステップ）	夏休みの課題曲を弾いておく	授業で弾いた曲を練習しておく	9	指導案の組み立て	配布資料を読んでおく	指導案を考える			
2	動きのための音楽②（動物・乗り物 他）	課題曲を弾いておく	授業で弾いた曲を練習しておく	10	ロールプレイ①	ロールプレイの準備をする	ロールプレイの良い点や改善点をまとめる			
3	いろいろな表現①（ボディパーカッション）	課題のリズムを叩いてくる	ボディパーカッションの自分の曲を作る	11	ロールプレイ②	ロールプレイの準備をする	ロールプレイの良い点や改善点をまとめる			
4	いろいろな表現②（身体表現を伴った言葉のアンサンブル）	課題のリズムを叩いてくる	言葉のアンサンブルの自分の曲を作る	12	音楽の視覚化①～プラスチックアニメ（曲の分析）	課題曲を聴いておく	インターネットでプラスチックアニメの動画を観る			
5	いろいろな表現③（絵本に動きをつける）	グループで絵本を把握しておく	好きな絵本に音楽を付けてみる	13	音楽の視覚化②～プラスチックアニメ（曲を動く）	課題曲の音楽の要素の合う身体の動きを考えておく	グループで作った動きを復習しておく			
6	速さの違いを感じての動き	課題曲を聴いておく	授業を振り返り、自分なりのアプローチを考える	14	音楽の視覚化③～プラスチックアニメ（仮発表と検討）	自分の動きを確認する	授業で撮影した動画を観て客観的に振り返り、再考する			
7	楽器の音色の違いを楽しみながらの動き	課題曲を聴いておく	いろいろな楽器の音楽を聴き、動きをイメージする	15	まとめ	実技試験の準備	これまでの授業内容と、実技試験の振り返り			
8	3拍子を感じて「メヌエット」を味わう	課題曲を聴いておく	自分なりの3拍子のアプローチを考えてみる	備考 ※卒業要件として、音楽学科は選択、こども学科は必修						
教科書・テキスト等	基礎からわかるリトミック！リトミック！ 石丸 由理著（ひかりのくに出版）	成績評価基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント					
参考書・参考資料等	リトミックでつくる楽しい音楽授業 井上 恵理・酒井 恵美子 共著（明治図書）、ダルクローズ・アプローチによる子どものための	平常点	定期試験（実技試験）	40%	授業への積極的な取り組み、受講態度 音楽の捉え方、動きの工夫、全体の構成					
				60%						

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1E21 幼児の音楽あそび	神野 和美	単独	2単位	こども学科 1年次	前期	必修	選択必修	必修		A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
0歳から6歳までの発達に沿って必要な歌やしぐさを修得する。幼児の集団遊びの種類や性質を整理し、いろいろな場面で遊びこなせる力をつける。子どもの身近な遊具や道具を使っても遊べるよう経験を積む。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 幼児の音楽あそびの授業内容について	教科書の目次を確認しておく	授業内容の確認	9	幼児（減り増える遊び）	課題の予習197p～	曲分析シート作成8		
	2	乳児の遊び歌①	課題の予習69p～90p	曲分析シート作成1	10	乳児の遊ばせ遊び（顔・頭・指）とこもりうた	課題の予習91p～103p	曲分析シート作成9		
	3	幼児（しぐさ遊び）	課題の予習197p～	曲分析シート作成2	11	幼児（隊伍の遊び）	課題の予習197p～	曲分析シート作成10		
	4	乳児の遊び歌②	課題の予習60p～90p	曲分析シート作成3	12	幼児（道具を使う遊び）	動きやすい服装	曲の復習		
授業の概要	5	幼児（鬼決め・教え歌）	課題の予習197p～	曲分析シート作成4	13	乳児の遊び復習	奇数番号シート	授業の復習		
教育者として乳幼児に関わる時に最も大事な役割は、人間育成の手助けである。身体的言語的発達がまだ未熟な子どもに対し芸術、特に音楽を通しての教育は大変重要でかっ一番子どもにとって身近な媒体である。そのはじめの一步として、自分自身の声と身体（身近な道具も）を使って乳幼児に寄り添えるわらべうたをしっかりと身につける。	6	乳児の遊ばせ遊び（足・ひざ）	課題の予習115p～119p	曲分析シート作成5	14	幼児の遊び復習	偶数番号シート	授業の復習		
	7	幼児（役交代の遊び）	課題の予習197p～	曲分析シート作成6	15	まとめ	実技試験のための準備	曲分析シートのまとめ、試験の準備		
	8	乳児の遊ばせ遊び（手を使った遊び）	課題の予習103p～114p	曲分析シート作成7						
教科書・テキスト等	わらべうた わたしたちの音楽 一保育園・幼稚園の実践一(明治図書)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					期末試験 平常点（態度・行動観察） レポート（シート）	50% 30% 20%	実技試験 授業の参加態度、予習復習の準備 課題の取り組み、毎回の積み重ね			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1M1E22 幼児の音楽指導法	神野 和美	単独	2単位	こども学科 1年次	前期	必修	選択必修	選択必修		A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
乳児では、子どもの発達の順次性を理解した上で最適な遊び歌を選べる力をつけ、いろいろな場面で応用力が身につくようになる。幼児では複数の遊びや歌の一つの実践として組み立てる（計画を立てる）ことができるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 幼児の音楽指導法の授業内容について	教科書の目次を確認しておく	授業内容の確認	9	幼児の遊びの中での音楽授業の組み立て②	課題の予習133p～	復習		
	2	なぜわらべうたか	課題の予習19p～	プリントの復習	10	乳児の計画②	課題の予習	計画表完成		
	3	わらべうたの力	課題の予習19p～	まとめ復習	11	幼児の授業の実践案作り①	7と9回目の復習	シート記入		
	4	子どもの身体発達	特になし	シートの記入	12	幼児のレポートリー表作り	特になし	表の完成		
授業の概要	5	「乳幼児の音楽あそび」で習得するたくさんのお歌を、具体的にどのような場面で活かせるのかという場面をイメージしたり、またどのように組み立てて表現していくことで子どもの芸術を通じた教育が活かされるのかを学んでいく。	課題の予習	まとめ復習	13	幼児の授業の実践案作り②	復習	授業実践案の作成		
	6	乳児の生活	50p～61p	授業の復習	14	実践練習	実践案確認	実践練習の振り返り		
	7	幼児の遊びの中での音楽授業の組み立て①	課題の予習121p～	復習	15	これまでの総まとめ	実技試験のための準備	これまでの復習と試験の準備		
	8	乳児の計画①	4と6回目の復習	授業の復習						
教科書・テキスト等	わらべうた わたしたちの音楽 一保育園・幼稚園の実践一(明治図書)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					期末試験 平常点（態度・行動観察） レポート（シート）	50% 30% 20%	筆記課題と面接 授業の参加態度・予習復習の準備 課題の取り組み			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KCIMIE23 音楽基礎演習	木村 博子	演習	2単位	こども学科 1年次	前期	必修				CDE
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
楽譜の読み書きに慣れ、与えられた楽譜や童謡曲において、リズムや音が正しく理解でき、豊かに表現できるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 音楽の基礎（理論とソルフェージュ）	シラバスを読む	確認テストの復習	9	音階と調 （長音階）ハ長調・ト長調・ニ長調	テキストP62～P67を読んでもらう	（ハ・ト・ニ）長調の音階を弾く・歌う・書く		
	2	音名、音符と休符、五線譜	テキストP8～P22を読んでもらう	楽譜を読む・歌う・弾く・書く	10	音階と調 （長音階）ヘ長調・変ロ長調	前回の復習とテキストP69～P79を読んでもらう	（ヘ・変ロ）長調の音階を弾く・歌う・書く		
	3	ソルフェージュ・単純拍子	2・3・4拍子の童謡曲を調べる	単純拍子の旋律を弾く・歌う・書く	11	音階と調 （短音階）イ短調・ホ短調・ニ短調	テキストP95～P100を読んでもらう	（イ・ニ・ト・ホ）短調の音階を弾く・歌う・書く		
	4	ソルフェージュ・単純拍子	6・9・12拍子の童謡曲を調べる	複合拍子の旋律を弾く・歌う・書く	12	旋律的短音階と和声的短音階・関係調	テキストP101～P108を読んでもらう	関係調の理解と童謡曲の移調・移調奏		
授業の概要										
保育や幼児教育に役立つ音楽の基礎を理論とソルフェージュの両側から学ぶ。「歌う」「リズム打ち」「音符を読む・書く」「音を聴き分ける」などの演習を通して基礎的な技術を身につける。	5	音程 音程の読み方と内容について	テキストP86～P90を読んでもらう	音程・度数について理解を深める	13	和音 主要三和音と属七の和音	テキストP112～P117を読んでもらう	主要三和音と属七の和音の基本形を弾く・歌う・書く		
	6	音程 長・短系の音程について	2・3・6・7度音程を読む・弾く・歌う	長・短系の音程について理解を深める	14	和音とコードネーム	テキストP118～P126を読んでもらう	童謡曲をコードで伴奏		
	7	音程 完全系の音程について	1・4・5・8度音程について	完全系の音程について理解を深める	15	まとめ	これまでの授業内容を復習	試験の振り返り		
	8	音楽用語・記号について （速度・強弱・曲想）記号	テキストP135～P142を読んでもらう	楽譜の中に書かれた音楽用語の理解を深める						
教科書・テキスト等	楽譜が読める・弾けるステップ20(甲斐彰著 音楽之友社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					期末試験 課題	60% 20%	筆記、実技試験への取り組み 課題への取り組み			
					平常点	20%	授業への積極的な取り組み			